



～『おおさぼ』誕生！特集号～

『おおさぼ』ってなに？

学校と地域が共におおさわ学園の子どもたちと地域を育む

地域学校協働活動を推進する団体 『おおさぼ』

「地域」と「学校」をつなぎ、子どもたちの育ちや学びを支える

地域住民や保護者の有志による緩やかなネットワークです

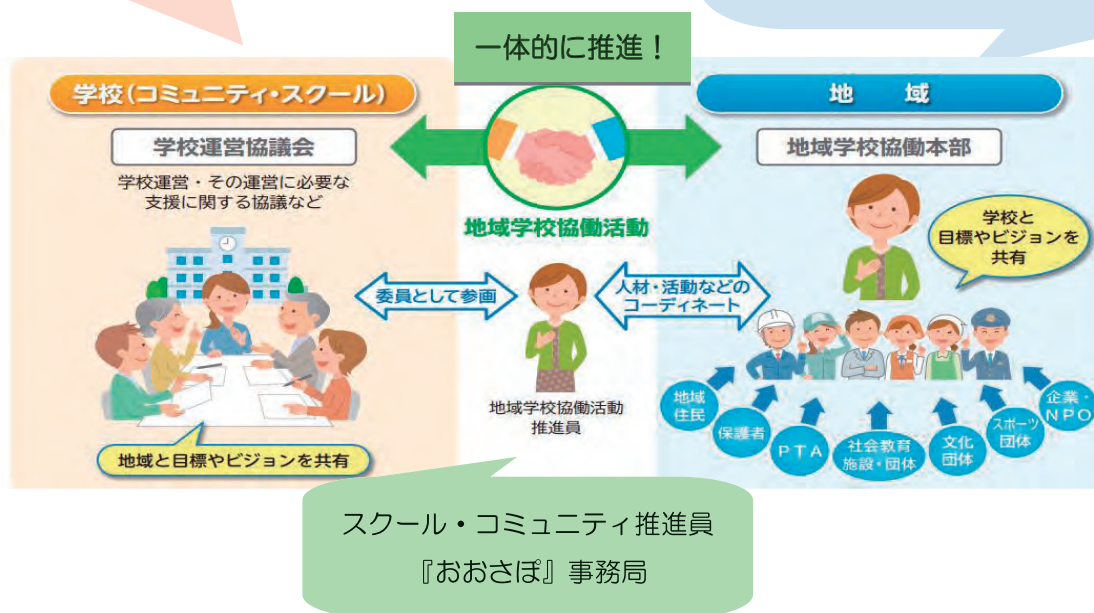
『おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会』

- ・評価部会・コーディネート部会・広報部会

地域学校協働活動を推進する団体

『おおさぼ』

- ・正会員は CS 委員
- ・サポート隊などのサポート会員



『おおさわ学園』は、『コミュニティ・スクール』（＝学校運営協議会を設置した学校）です。「おおさわ学園コミュニティ・スクール（CS）委員会」は、15年間、協議と支援の両輪で担ってきました。

CS委員会の「支援＝サポート」の部分をもっと皆さんが関わりやすい形に、それが『おおさぼ』です。

実は、皆さんがすでに関わっている、おおさわ学園の子どもたちを支える活動サポート隊やゲストティーチャー（地域の先生）、七中生ボランティアなど子どもたちの地域での活動を受け入れてくださっている地域の皆さん、地域未来塾学習支援員や放課後の居場所づくりスタッフの皆さんCS委員会の係活動「各種検定」や「古本リサイクル」などは、「おおさぼ」の仲間だったのです。

詳しくは、中面でご紹介します⇒



共に育む

＼おおさぼ／の活動を紹介します

サポート隊

- 授業補助、行事のサポート
- 校外学習引率・安全管理
- 図書・読書サポート
- 部活動見守り

学園の児童・生徒にたくさんの「できる喜び」や「学ぶ楽しさ」を知ってもらうため、先生から依頼を受け、先生の指導のもと、**授業や行事をサポート**する「サポート隊」を組織し、運営しています。

※CS委員会コーディネイト部会と連携しています。



七中生ボランティア活動

- 田植え・稲刈り(ほたるの里・三鷹村)
- 地域防災訓練
- 古民家・水車小屋でのイベント
- 大沢の里秋まつり、大沢コミセン祭り
- その他地域行事や町会清掃

多くの地域団体の受け入れのもと、ボランティア活動を通して、地域の中で「**頼られる存在**」として活躍することで、生徒の**自己有用感**を高めています。

CS委員会と事務局

学校運営に関する協議および支援
(●学校評価/●広報/●コーディネート)

おおさわ学園スクール・コミュニティー カレンダーはCS広報部が作成しています！3校の年間行事と地域行事をカレンダーにまとめ、**学校と地域の情報を共有**できるアイテムです！

おおさぼ事務局は、サポート会員の登録窓口になります。地域の方も保護者の方もお気軽にお声がけください！

SC推進員
藤橋初美



SC推進員
倉田清子



地域子どもクラブ

子どもの居場所づくりと体験

- 校庭・体育館・教室の開放事業
- サークル活動・イベントの開催

大沢けやきっず(大沢台小)
羽沢るんるん(羽沢小)

地域の方・保護者が実施委員と安全管理者を担い、平日の放課後や休日、夏休みなどに校庭・体育館・教室の開放事業や、サークル活動、イベントを開催し、子どもの居場所づくりと体験の機会を提供しています。様々な地域の方の協力のもと、子どもを中心にした大人のコミュニティが形成されています。



ゲストティーチャー

- 地域人財を活用した授業づくり

地域の方が先生となり、子どもたちに**豊かな体験と学び**を教えてくださいます。



地域未来塾

- 放課後学習サポート

第七中学校:卒業生やICUなどの近隣の大学生が学習支援員として、放課後の自主学習や受験勉強などの**学習支援**に当たっています。大学生との会話を楽しむことができる中学生にとっての居場所にもなっています。

大沢台・羽沢小学校:地域や保護者、大学生などが学習支援員として、放課後に**補充学習**を行っています。



ルールを守りながら参加することで、朝や放課後の安全な居場所づくりを目指しています。



るんるん教室。おしゃべり、工作、宿題、ゴロゴロ。みんな自由に過ごしています。



木工教室・おうちの人も一緒に様々な体験教室を実施しています。



わかるって楽しい！子どもたちの日々の成長は、学習指導員さんにとっても嬉しく、楽しいことです。七中生は、学習支援員の卒業生や近隣の大学生との会話も楽しみにしています。

検定実施

- 漢字検定
- 英語検定
- 算数数学検定

各校やコミュニティ・センターを準会場として検定を実施しています。

※CS委員会コーディネイト部会と連携しています。

古本リサイクル活動

- 古本市の開催(大沢の里秋まつり)

地域から寄付本を集め、学校図書館や学級文庫に寄贈。地域ぐるみで子どもたちの**読書環境**をつくります。



運動会や音楽会に向けて熱心に取り組んでいます。



おおさわ学園ならではの授業もサポート隊に支えられています。



読み聞かせは、子どもたちの読書習慣の定着に役立っています。



各種検定。小学生から参加することにより、受験を見据えたものから自分の目標を達成する喜びを得る場となりました。



生徒数が少なく図書の予算が少ないおおさわ学園に、本の支援をと始めた活動ですが、子どもたちが安心してお金を使える場として、さらに保護者と地域の方たちのコミュニケーションの場としても楽しみにされる場となっています。



わかるって楽しい！子どもたちの日々の成長は、学習指導員さんにとっても嬉しく、楽しいことです。七中生は、学習支援員の卒業生や近隣の大学生との会話も楽しみにしています。

『国立天文台周辺のまちづくり』に関して、CS 内熟議を行いました！

11月16日羽沢小学校で行われた委員会では、委員を3グループに分け、「学校」「まちづくり」「防災」の3つのテーマで熟議を行いました。地域や学校の意見を新しい学校づくりに反映してもらうため、三鷹市から参加された国立天文台周辺地区まちづくり推進本部の方たちにヒアリングをしながら、活発な議論が交わされました。

学校 -天文台の森の学校-



- ・義務教育学校になると現状学年の関係性はどのようになるのか。9年間の区切りは？
- ・教科の専門性を活かした授業が可能だが、教員の配置、授業担当の考え方の方針を決める必要あり。
- ・小・中で授業時間の差の調整が必要。
- ・通学距離の長い児童に対しては、スクールバス運行などの配慮をしてほしい。
- ・校舎・敷地内設備について、分けるべきものと共用できるもの。
- ・不登校児童・生徒への対応は、一貫校では別の難しさがありそう。
- ・地域に開かれた学校を目指す一方で、子どもたちを守る防犯にも留意を。



まちづくり -持続可能なコミュニティ-

- ・学校をコミュニティの中心に置き、地域の人でも利用できる施設づくり。
- ・子育てをしていない世帯にもメリットを。
- ・校内に公民館や図書館の機能を持たせ、コミュニティの活性化を図る。
- ・今ある貴重な自然をどう受け継いでいくか。自然の中で学べ、過ごせる施設は魅力。
- ・郷土資料館のようなもの設置してはどうか。
- ・2つの小学校の跡地利用 (例)不登校児童用の施設、児童館、福祉拠点 等
- ・校舎新築する場合、現行校舎を利用しながらの工事と比べ、授業の制約が少ない。

『国立天文台周辺のまちづくり』とは…

国立天文台が研究の継続・発展に向けた財源の確保をするために、七中側の敷地の一部について民間への売却を含む検討をしていることの相談が寄せられたことから、三鷹市が市内でも貴重な豊かな自然の保全のために、地域への利用を模索し始めました。さらに令和元年の台風で野川が増水した際には、浸水地域に指定されている羽沢小学校が、市内公立学校で唯一避難所にできない事実に行き当たり、自然に恵まれた環境での安全安心な新しい学校づくりを目指し、羽沢小学校を移転する方向で現在計画が進められています。

今後大沢台小、羽沢小共に1学年1学級の単学級学年の出現が予測されている、おおさわ学園の教育の質を維持するため、義務教育学校の制度を活用し小・中一貫を推進する三鷹市のモデル校として、また地域へ開かれた施設として、どのような開発計画が求められるか検討中です。

防災 -命とくらしを守る防災拠点-



- ・令和元年の大雨で避難所が開設された際の課題点と今後の課題。地域の人には誰が避難所の開設者となるか意識していない。
- ・災害の種類によって避難の仕方も変わる。
- ・一度浸水してしまうと、2～3週間程度は施設使用が不可となる。
- ・避難時のために駐車スペースを確保しておくのは良いが、幹線道路からのアプローチが少ない分、普段から車で集客するのは交通安全上疑問。
- ・公共交通機関を充実してほしい。

☆最後に、国立天文台周辺地区まちづくり推進本部の伊藤事務局長より、「現状で考えられるいろいろな意見を吸い上げ、地域の皆さんの声を聞きながら検討していきたい」との感想を頂きました。